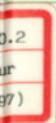




倉吉市内遺跡分布調査報告書X

平成10年度

倉吉市教育委員会



序

この報告書は、平成9年度および10年度に、開発事業に伴う事前事業として実施した試掘・確認調査、および不入岡遺跡の保存を前提とした範囲確認調査の記録であります。

鳥取県の中央部に位置する倉吉市は、県内でも有数の埋蔵文化財の密集地です。倉吉市教育委員会では、こうした埋蔵文化財を守り、開発事業と文化財の共存を図るため、各関係機関と協議を重ね、さらには地元の方々のご理解とご協力を得ながら、文化財行政を進めているところです。

今回実施した調査は、トレンチやグリッドといった小面積の調査でしたが、遺跡の有無とそのひろがりや性格を把握するという所期の目的を果たし、保存対策を講ずることができました。発掘調査の内容としては不十分であり、満足すべきものではありませんが、埋蔵文化財行政の資料として活用願えれば幸いに存じます。

最後に、調査にご協力をいただきました市民の方々をはじめ、関係各位に対し、深く感謝の意を表するものであります。

平成11年3月

倉吉市教育委員会

教育長 足羽 一 昭

例 言

- 1 本報告書は、平成9年度及び10年度に倉吉市教育委員会が、国・県の補助を受けて実施した分布調査の記録である。分布調査は、トレンチ・グリッドによって遺跡の有無・範囲・性格を調査したものである。
- 2 発掘調査団は次のような組織・編成である。

団 長 足羽 一昭（倉吉市教育委員会教育長）
調 査 委 員 名越 勉（倉吉市文化財保護審議会会長）
手嶋 義之（倉吉市文化財保護審議会委員 9年度）
調 査 員 根鈴 輝雄（倉吉博物館主任学芸員） 眞田 廣幸（文化課課長補佐兼文化財係係長）
森下 哲哉（文化財係主任） 根鈴智津子（文化財係主事）
加藤 誠司（文化財係主事） 岡本 智則（文化財係主事）
岡平 拓也（文化財係主事）
調査補助員 山根 雅美・松田 恵子
事 務 局 故石田佐喜子（教育次長 9年9月まで）
新田 征男（教育次長 9年10月から10年6月まで）
波田野頌二郎（教育次長 10年7月から）
生田 淳美（文化課課長 9年度） 山脇 将輝（教育次長兼文化課課長 10年度）
藤井 敬子（文化財係主任 10年7月から） 福澤 昌子（文化財係主事）
山崎慎之介（文化財係主事 10年6月まで） 金田 朋子（臨時職員）
内 務 整 理 泉 美智子・世浪由美子・妻藤 君江・松嶋あつ子・竹歳 暁子
山崎有香子（9年度）・山本 錦（10年度）
- 3 地形図は、平成9年修正測量の1:2,500 国土基本図 倉吉市平面図を使用し、方位は国土座標第Ⅴ座標系で示した。
- 4 発掘資料は倉吉博物館で保管している。

目 次

1 上神地区（上神宮ノ前遺跡）	1
2 四分寺地区（河原毛田遺跡）	2
3 尾田地区（尾田中峰遺跡）	3
4 虹ヶ丘町地区（奥小山8号墳）	5
5 和田地区（大平ラ遺跡・八幡山遺跡・若林遺跡・長谷遺跡）	6
6 大沢地区（高峰遺跡・矢内谷峰遺跡）	11
7 井手畑地区（上道遺跡）	12
8 大河内地区	13
9 下田中町地区（畑ヶ田遺跡）	13
10 西倉吉町地区（空岡田遺跡）	15
11 不入洞遺跡	16
12 飯地区	17
13 国府地区	18
14 下福田地区	19
15 北野地区（八幡平ラ遺跡）	20

1 上神地区（上神宮ノ前遺跡）

調査地点 倉吉市上神宮^{みまのま}ノ前749-1・766-1

調査期間 平成9年4月16日～平成9年5月6日

調査契機 民間の宅地造成工事に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 384㎡

調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、事業予定地内に7本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第1・3・6・7トレンチで幅約32mとやや狭い谷地形を確認した。この谷を埋める暗茶褐色土及び暗黒茶褐色土層から、多量の土師器・須恵器などとともに土製動物形・手捏土器・土製支脚・竈などの祭祀遺物が多く出土した。今回調査した地区の西隣には祭祀遺物が国の重要文化財に指定された谷畑遺跡があり、祭祀遺物の出土状況がよく類似している。また第5トレンチでは弥生時代後期の貯蔵穴を検出した。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×22.5	45	貯蔵穴・土塚	弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・甗・竈・把手 土製支脚・手捏土器・土製動物形・石炭
2	2×25	50		土師器
3	2×25.5	51		弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・竈・把手 土製支脚・手捏土器・瓦質土器・陶器・鉄製品・磁石
4	2×38	76		土師器・須恵器・土師質土器・竈・手捏土器・窯具・磁石
5	2×20	40		弥生土器・土師器・陶器・窯具・磁石・炭化物
6	2×26	52		弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・甗・竈 手捏土器・陶器・鉄製品
7	2×35	70		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・竈・把手・土製支脚 陶器・磁器



2 国分寺地区（河原毛田遺跡）

調査地点	倉吉市国分寺 ^{あまのりび} 字河原毛田74-1・74-2
調査期間	平成9年5月7日～平成9年5月23日
調査契機	社コミュニティセンター建設に伴う予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	324.5㎡
調査担当	森下哲哉

調査は、事業予定地内に3本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、東西方向に延びる溝を4条、北東から南西に延びる溝を1条検出した。第2トレンチの溝からは砂質土層を検出しており、水路の可能性が考えられる。遺物は各トレンチから奈良～平安時代の瓦や土器片が出土し、溝からはその量が多くなる。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×61.5	123	溝	土師器・須恵器・瓦
2	2×42.5	85	溝	土師器・須恵器・瓦・鉄製品
3	2×21.5 3×24.5	116.5	溝	土師器・須恵器・陶具・瓦・鉄製品・炭化物



3 尾田地区（尾田中峰遺跡）

調査地点 倉吉市尾田^{（中峰）}字中峰325-2・325-3

調査期間 平成9年5月26日～平成9年6月5日

調査契機 畜産基盤再編総合整備事業尾田団地造成工事に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

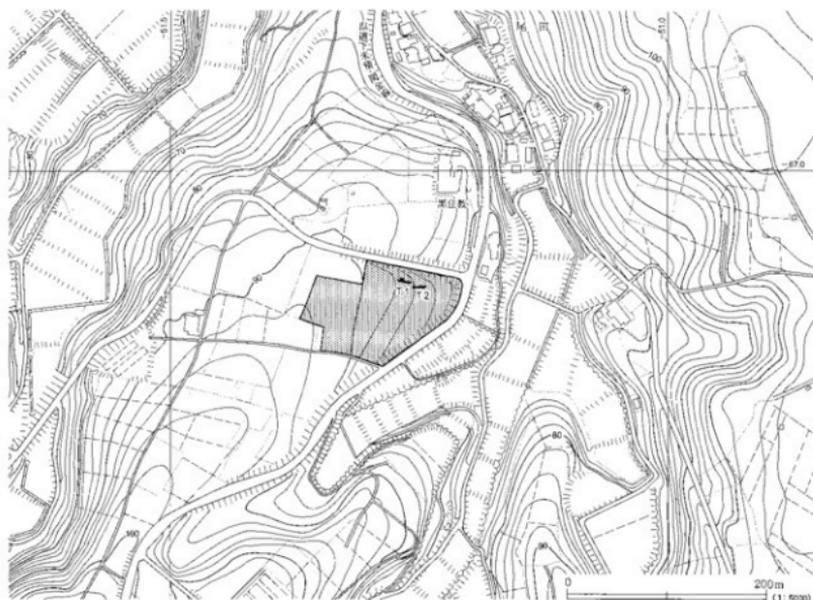
調査面積 64㎡

調査担当 森下哲哉

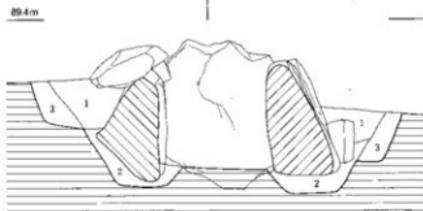
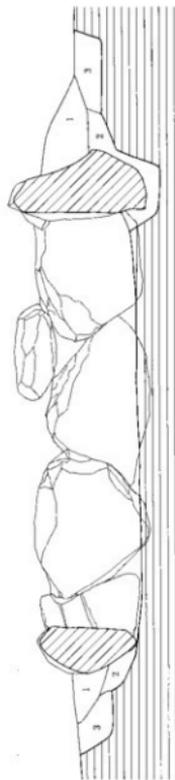
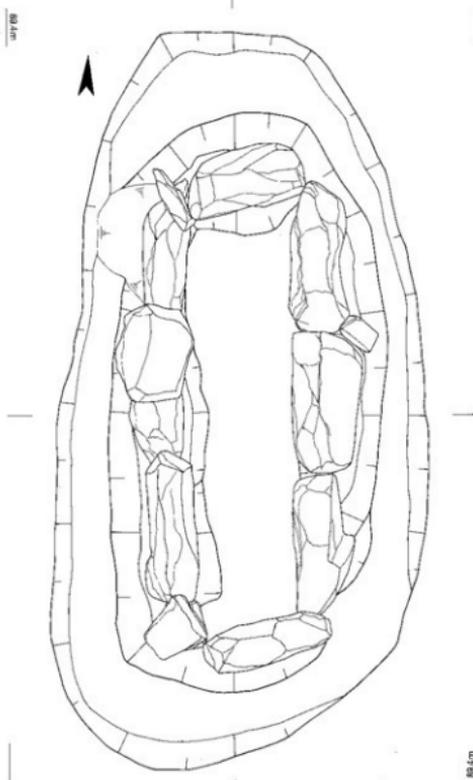
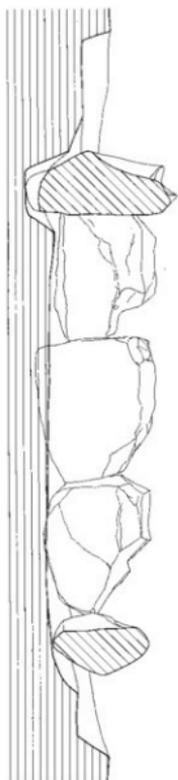
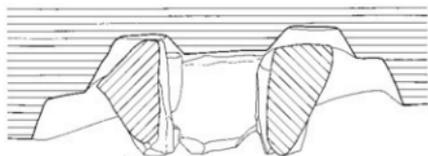
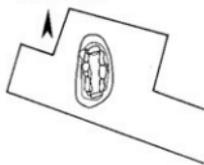
調査概要 調査は、事業予定地内に幅2mのトレンチを2本設定して実施した。第1トレンチ（長さ13m、拡張部長さ4m）では、表土から20cm掘り下げて箱式石棺墓を1基確認した。第2トレンチ（長さ15m）では遺構はなく、遺物は弥生土器が出土した。

箱式石棺墓は、検出時点で蓋石がすでに失われているなど、石棺全体に大きな擾乱を受けていた。石棺は、40～60cm大の河原石9個で構築され、規模は内法で長さ1.71m・幅0.45m、深さは石材上端より0.31mを測る。西側が4個、東側が3個からなる側石を両小口石が挟む形を呈する。棺内も擾乱を受けており、頭位は不明で、副葬品などの遺物は出土しなかった。掘り方は、長楕円形の平面形を呈し、規模は長さ2.94m・幅1.50m、検出面からの深さは0.4m前後を測る。掘り方埋土中から弥生土器が出土した。箱式石棺墓に伴う盛り土や周溝は確認できなかった。

以上の結果、遺跡の存在を確認した。しかし、遺構密度は非常に粗いもので、地山面の削平を伴う場合には事前の発掘調査が必要である。



第1トレンチ



- 1 黑色土
- 2 暗紫褐色土
(ホーキブツツ土混入)
- 3 暗紫赤褐色土

0 50cm
(1/20)

4 虹ヶ丘町地区（奥小山8号墳）

調査地点 倉吉市虹ヶ丘町244、上余戸^{（奥小山）}奥小山587-121、大原字^{（大原）}郡山1247-1

調査期間 平成9年7月3日～平成9年7月18日

調査契機 主要地方道鳥取鹿野倉吉線緊急地方道路整備事業に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

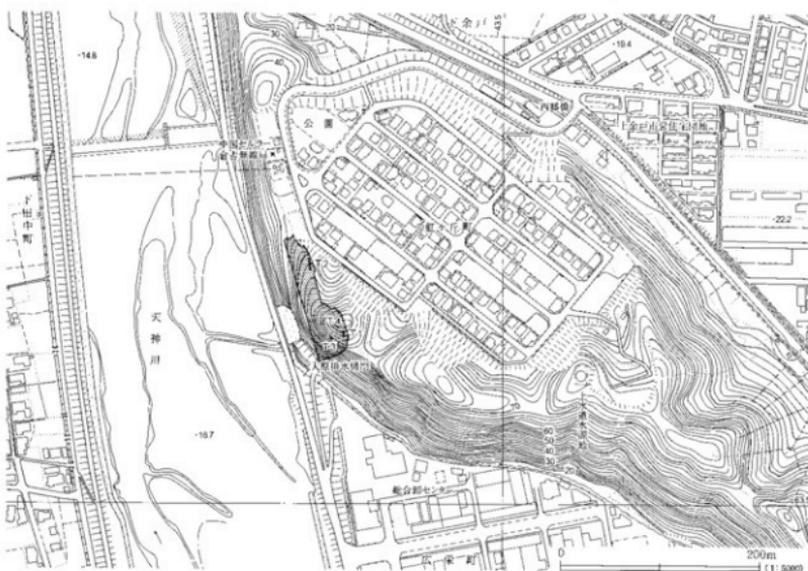
調査面積 45㎡

調査担当 岡平拓也

調査概要 調査は、事業予定地内の現地踏査で認められた古墳状の高まりに2本、その下の平坦部に1本、北西部の尾根上に1本のトレンチを設定して実施した。調査範囲の北東側は、昭和55年度に西郷ニュータウン造成に伴って発掘調査された奥小山古墳群である。

調査の結果、第1・4トレンチから墳丘盛り土である暗黄褐色土とその裾に周溝である暗褐色の落ち込みを検出し、周溝上層から土師器が数点出土した。第2・3トレンチからは遺構・遺物とも検出しなかった。このため第1・4トレンチを含む南東部分については事前の発掘調査が必要である。

トレンチ №	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2 × 8	16	古墳墳丘	
2	1.5 × 12	18		
3	1 × 4	4		
4	1 × 7	7	古墳墳丘・周溝	土師器・土師質土器

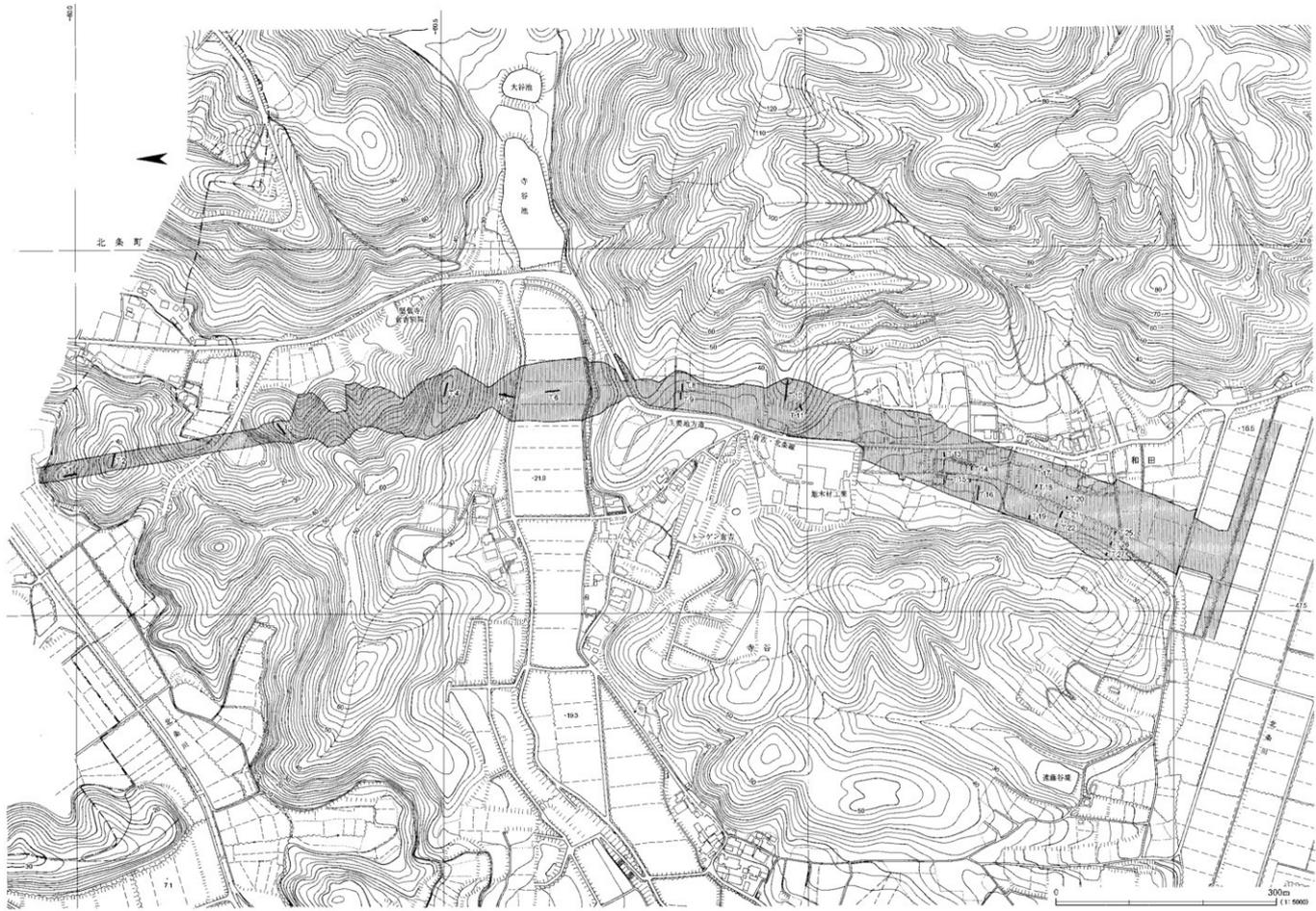


5 和田地区（大平ラ遺跡・八幡山遺跡・若林遺跡・長谷遺跡）

調査地点 倉吉市和田字大平ラ783・799-1、黒坂528・749-1・750・754-1・755・767・768-2・768-6
769-1～4・770・771-1・771-2・772・772-1・773-2・774-1・774-2・775-1、西ノ谷743-2・747-1・748-1
寺谷字八幡山606-1・612・616・617-2・620・621・622-1、竹ヶ谷596-1、北石坂平591・592
若林586、上平田816～818・820・821-1・821-2、長谷131-2・131-4～6・133-1・133-2・133-4
133-8・133-9・134-1・134-3・134-4

調査期間 平成9年11月7日～平成10年1月9日
調査契機 一般国道313号北条倉吉道路（地域高規格道路北条湯原道路）建設工事に伴う予備調査
調査方法 トレンチによる発掘調査及びボーリング調査
調査面積 510㎡
調査担当 岡本智則
調査概要 調査は、事業予定地内に27本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第1トレンチで弥生土器が集中して出土しており、丘陵尾根先端部であることから弥生時代の墳丘墓の可能性がある。また第10トレンチでは古墳の周溝を検出し、土師器・須恵器樽形甕等が出土した。第1・4・5・7～11トレンチの周辺については、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×20	40	平坦地	弥生土器
2	2×20	40		
3	2×20	40		
4	2×20	40	平坦地	
5	2×20	40	石列	縄文土器・土師器・須恵器
6	2×20	40		縄文土器・弥生土器・土師器・土師質土器・石斧・炭化物・古銭
7	未調査			
8	2×10	20		
9	2×10	20		
10	2×30	60	古墳周溝	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器・陶器・磁石 土師器
11	2×10	20		
12	未調査			
13	2×5	10		
14	2×5	10		
15	2×5	10		土師器・須恵器
16	2×20	40		
17	ボーリング			
18	2×5	10		
19	2×5	10		
20	ボーリング			
21	2×10	20		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦・甕・手捏土器
22	2×5	10		縄文土器・土師器・須恵器・土師質土器・甕・炭化物
23	未調査			
24	未調査			
25	2×5	10		土師器・陶器・磁器
26	2×5	10		縄文土器・土師器・土師質土器
27	2×5	10		土師器・須恵器・土師質土器・甕



6 大沢地区（高峰遺跡・矢内谷峰遺跡）

調査地点 倉吉市国府字大道谷^{たかみね}987-194・987-201・1877・1883～1886・1887-1、^{たかみね}高峰988-54～56・988-89
 988-91・989-70、^{たかみね}高峰2143～45・2147-1・2158・2159-1・2160-1・2160-2・2162-1・2170・2172-3
 2175-1～3・2177-1・2177-2・2179-1・2179-2・2183・2191-1・2194・2198、^{うぐいす}植木場1949-1973-1
 1973-2・1976-1
 尾原字^{やしろにひらけしん}矢内谷東峰165-1・725-2・726-3・726-5、^{やしろにひらけ}矢内谷峰998-1・1006・1009・1019-1・1020・1021
 1022-1・1023～1026
 下福田字^{あかみち}大道谷908-1

調査期間 平成10年4月17日～平成10年4月27日

平成10年12月11日～平成10年12月22日

調査契機 県営久米ヶ原地区畑地帯総合整備事業（追加）に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 613㎡

調査担当 加藤誠司・岡本智則・岡平拓也

調査概要 調査は、事業予定地内に20本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第12トレンチで竪穴式住居の柱穴と思われる土壌を3基、第17トレンチで落し穴を1基確認した。他のトレンチでは遺物が出土したものの少量であり、遺構は確認できなかった。このため第12・17トレンチの周辺は、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ №	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×15	30		
2	2×10	20		
3	2×15	30		
4	2×21	42		土師質土器
5	2×19	38		弥生土器
	2×4	8		
6	2×10	20		
7	2×15	30		
8	1.5×10	15		弥生土器
9	2×15	30		
10	2×20	40		
11	2×10	20		弥生土器・土師質土器
12	2×35	70	柱穴	弥生土器・土師器・磁石・磁石
13	2×20	40		
14	2×10	20		縄文土器・土師器
15	2×17	34		
16	2×20	40		
17	2×20	40	落し穴	
18	2×5	10		
19	2×5	10		
20	2×13	26		

7 井手畑地区（上通遺跡）

調査地点	倉吉市井手畑字 ^{上通} 158
調査期間	平成10年4月20日～平成10年4月30日
調査契機	宅地造成工事に伴う予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	68㎡
調査担当	加藤誠司
調査概要	調査は、事業予定地内に3本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、第1トレンチ

西側で水路を確認した。水路は、東南東から西北西の方向に延び、現地表面から約10.15m下を検出面とし、圃場整備直前まで使用されていたと推定される。また、水路の約10cm下層から、ほぼ水路と同じ方向に板石と円礫を敷きつめた石敷きと、石敷きの南辺に沿って溝を確認した。この石敷きと溝は一体のものとみられる。第2トレンチでは中世以降と推定される畝状高まりを、第3トレンチでは溝を確認した。また各トレンチから遺物が検出され、古墳時代から近現代に至る遺跡が存在すると判断される。このため現地表面下25cm以下を掘削する場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×10	20	水路・石敷き・溝	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器・須恵質陶器 陶器・青磁
	2×4	8	土壌・ピット	磁器・瓦（施釉・襷）・鉄製品・銅片・殻石・炭化物・木片・キセル
2	2×10	20	畝状の高まり	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・青磁・磁器・瓦・砥石・炭化物
3	2×10	20	溝	土師器・須恵器・土師質土器・瓦・瓦質土器・陶器・炭化物



8 大河内地区

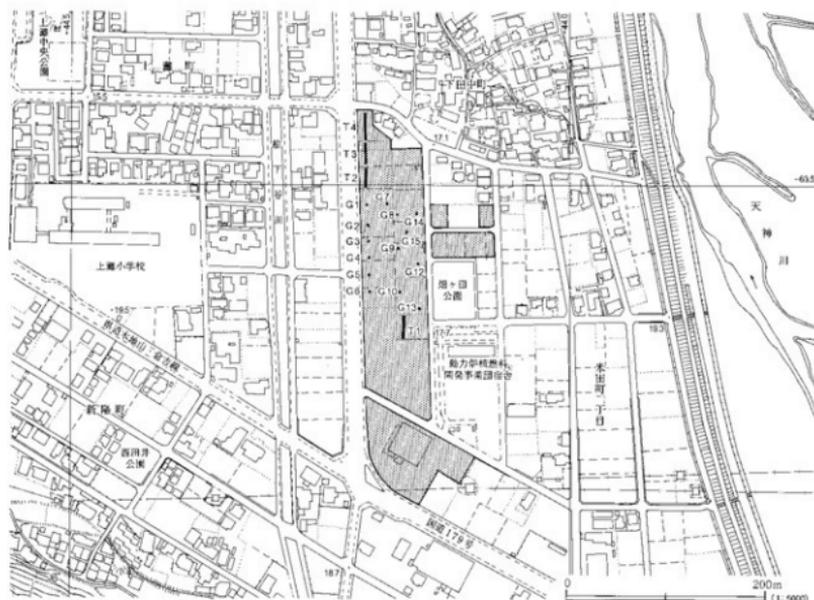
調査地点	倉吉市大河内字雨堤 ^{オモヅラ} 671-136
調査期間	平成10年4月21日～平成10年4月24日
調査契機	中国自然歩道大山池休憩所便所改修工事に伴う予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	12㎡
調査担当	森下哲哉
調査概要	調査は、事業予定地内に幅2m・長さ6mのトレンチを1本設定して実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、遺跡は存在しないと判断される。



9 下田中町・米田町地区（畑ヶ田遺跡）

調査地点	倉吉市下田中町931～941・943・945・946・947-1・947-2・948・950・952-4・952-5・972・973・975 982・983・985～987・990（字東堀・西上手・中上手・畑ヶ田）、米田町2丁目53-1・53-2・53-3 54-1・54-2・60-1・60-2・61（字八ヶ坪・土亀田・橋井手）
調査期間	平成10年5月11日～平成10年6月18日
調査契機	宅地造成工事に伴う予備調査
調査方法	トレンチ・グリッドによる発掘調査
調査面積	240㎡
調査担当	岡平拓也
調査概要	調査は、事業予定地内に4本のトレンチと15個のグリッドを設定して実施したが、第11グリッドは湧水のため未調査である。調査の結果、第1トレンチでは標高16.8m（現地表面下70cm）で中世の水田を、その下から奈良時代のもと考えられる東西へ延びる溝（幅75cm・深さ40cm）を確認した。さらにその下からは弥生時代末期の遺物包含層を確認した。第2～4トレンチは、洪水による攪乱がかなり激しいものの、第2トレンチでは中世の水田を、その下から弥生時代末期の遺物包含層を確認した。また各グリッドでは中世～近世の水田を確認した。このため現地表面から70cm以下を削平する場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ グライッド No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
T 1	2×23.5	47	水田・溝	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・土師支脚・瓦質土器 陶器・磁器・古代瓦(楕瓦)・鉄製品・鉄棒・土鏡・炭化物
T 2	2×20.5	41	水田・畑	土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器・近代瓦(楕瓦・施輪瓦) 炭化物・おはじき
T 3	2×22	44	水田・畑	土師質土器・須恵質陶器・陶器・磁器・炭化物・古銭・おはじき
T 4	2×27	54	水田・畑	須恵器・陶器・磁器・近代瓦(施輪瓦)
G 1	2× 2	4	水田	須恵器・須恵器転用硯
G 2	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・陶器
G 3	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G 4	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・瓦質土器・須恵質陶器・瓦・土鏡
G 5	2× 2	4	水田	土師器・須恵器
G 6	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G 7	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器・把手・釘
G 8	2× 2	4	水田	土師器・須恵器
G 9	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G10	2× 2	4	水田	土師器・把手
G11	未 掘			
G12	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器
G13	2× 2	4	水田	土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器
G14	2× 2	4	水田	陶器
G15	1× 2	2	水田	土師器・須恵器



10 西倉吉町地区（空岡田遺跡）

調査地点 倉吉市西倉吉町字屋敷添114-2、空岡田134-2

調査期間 平成10年7月1日～平成10年7月17日

調査契機 宅地造成工事に伴う予備調査

調査方法 トレンチ・グリッドによる発掘調査

調査面積 54㎡

調査担当 岡平拓也

調査は、事業予定地に2本のトレンチと2個のグリッドを設定して実施した。調査の結果、西側の一段高い部分から中世の土壌、ピットなどを検出した。断面観察により地山までの黒色土は、中世の土壌を人為的に埋め戻した後に堆積したものであることが確認され、中世の段階でかなり大規模な造成が行われていることになる。調査区は中世城郭である「北の城」の推定地の周辺であり、その関連がうかがわれる。東側の一段低い部分では、造成土の下はほとんどの部分で旧地形を残しており、中世～近世の水田、さらにその下層では縄文時代の遺物を多量に含む落ち込みが確認された。このため現地表面から、西側の一段高い部分は65cm、東側の一段低い部分は50cm以下に削平が及ぶ場合には、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ グリッド No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
T1	2×11	22	土壌・ピット	縄文土器・土師器・須恵器・埴輪・土師質土器・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・磁器・白磁・青磁・刀子・石鏃・炭化物
T2	2×14	28	水田・落ち込み	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・瓦質土器 須恵質陶器・陶器・磁器・青磁・鉄釘・土師・安山岩削片 絞弾・石斧・磨石・磁石・炭化物
G1	1×2	2		
G2	1×2	2		

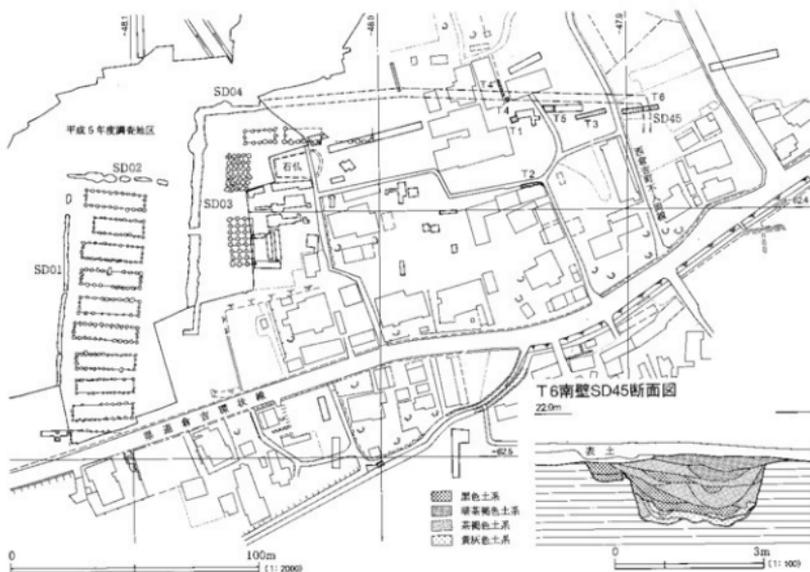


11 不入岡遺跡

調査地点	倉吉市不入岡字堀 ^{標高} 719-1・721・729・730-1、 ^{古墳群標高} 荒神畑297・302、 ^{奥の森標高} 奥屋敷734-1・735-2
調査期間	平成10年7月8日～平成10年8月27日
調査契機	不入岡遺跡範囲確認調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	87㎡
調査担当	根鈴智津子
調査概要	調査は、不入岡遺跡の東を画する溝を確認するため、6本のトレンチを設定して実施した。第1～3トレンチからは溝は検出されなかった。そこで北を画する溝（SD04）について平成6年度第6トレンチで一部を確認したのみであったので、東側延長部分に第4トレンチを設定し調査を行ったところ、東西方向に延びる幅3.6mの落ち込みを検出した。位置・方向・幅からみてSD04と判断される。

さらに各トレンチ東西間の空隙をなくすため、平成6年度第12トレンチと第22トレンチの間に第5トレンチを設定したが、遺構は認められなかった。そこで第6トレンチは道路（西倉吉町不入岡線）際から東に、また第4トレンチで検出したSD04の延長ラインより南側に設定した。その結果トレンチ東側で幅2.6m・深さ1.3mの南北溝を確認した。遺物は須恵器・丹塗り土師器（伯耆国庁第2段階）が出土し、位置・方向・形態から見て、東を画する溝（SD45）と判断される。

不入岡遺跡の規模は、西側溝（SD03）と今回検出した溝との心々距離で、東西約179m、張出部溝（SD01）を加えると約231mとなる。



トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×3	6		弥生土器・土師質土器・陶器
2	0.5×9	4.5		須恵器・土師質土器
3	2×12	24	土壌	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・須恵質土器・碧玉木製品 磨石・蔽石
4	2×2	4	溝 (SD04)	
4'	0.5×7	3.5	溝 (SD04)	
5	3×5	15		弥生土器・土師器
6	2×15	30	溝 (SD45)	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器・碧玉木製品 磨石

12 鋤地区

調査地点 倉吉市鋤字石仏^{いしほとけ}451-27・451-28

調査期間 平成10年8月5日～平成10年8月10日

調査契機 自動車・携帯電話局新設工事に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 23㎡

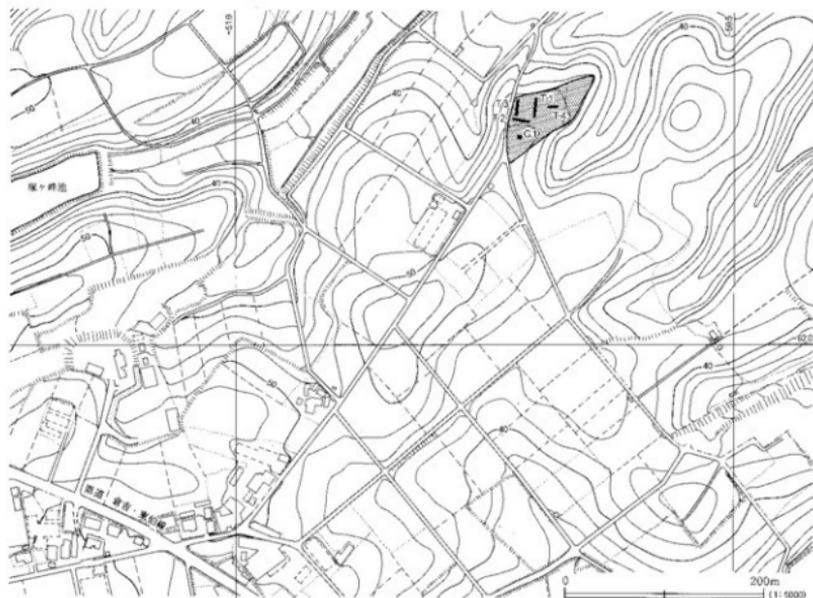
調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、事業予定地内に2本のトレンチ(第1トレンチ:幅1.5m・長さ6m、第2トレンチ:幅2m・長さ4m、拡張部幅1m・長さ6m)を設定して実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、遺跡は存在しないと判断される。



13 国府地区

- 調査地点 倉吉市国府字向長谷1259・1260 きょうふじがたに
- 調査期間 平成10年10月22日～平成10年10月29日
- 調査契機 産業廃棄物中間処理施設建設に伴う予備調査
- 調査方法 トレンチ・グリッドによる発掘調査
- 調査面積 145㎡
- 調査担当 森下哲哉
- 調査概要 調査は、事業予定地内に幅2mのトレンチを4本（第1トレンチ：長さ20m、第2トレンチ：長さ18m、第3トレンチ：長さ16.5m、第4トレンチ：長さ10m）と、グリッドを1個（幅4m・長さ4m）を設定して実施した。調査の結果、全体に畑地造成時の削平が及んでおり、遺構・遺物とも確認できなかった。遺跡は存在しないと判断される。



14 下福田地区

調査地点 倉吉市下福田字金鑄谷725-130・749-45～50

調査期間 平成10年11月18日～平成10年12月14日

調査契機 畜産基盤再編総合整備事業に伴う予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 324㎡

調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、事業予定地内に10本のトレンチを設定して実施した。調査の結果、全てのトレンチで遺構は確認できず、また少量の土器片と打製石斧・磨石が出土したが、いずれも遺構に伴うものではなかった。このため遺跡は存在しないと判断される。

トレンチ No	縦横 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×15	30		
2	2×20	40		
3	2×16	32		弥生土器
4	2×4	8		
5	2×20	40		
6	2×8	16		
7	1.2×15	18		弥生土器
8	2×15	30		弥生土器
9	2×20	40		弥生土器
9	2×22	44		弥生土器・打製石斧・磨石
10	2×13	26		



15 北野地区（八幡平ラ遺跡）

調査地点 倉吉市北野字^{ほしのみやまのぼり}八幡平ラ670-1

調査期間 平成10年12月16日～平成10年12月18日

調査契機 携帯電話基地局基礎整備工事に伴う予備調査

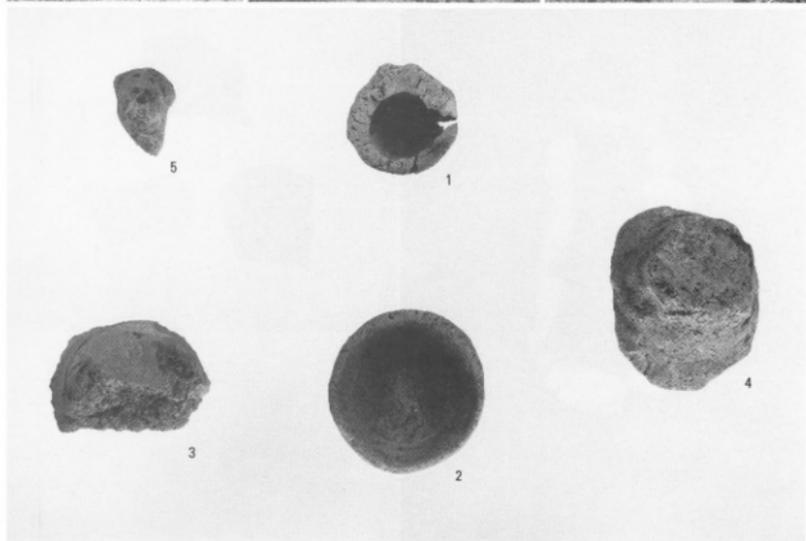
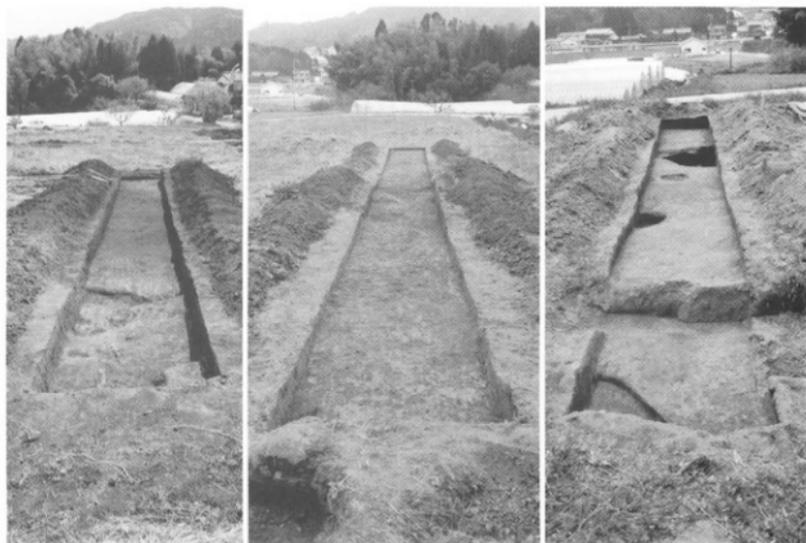
調査方法 グリッドによる発掘調査

調査面積 32㎡

調査担当 森下哲哉

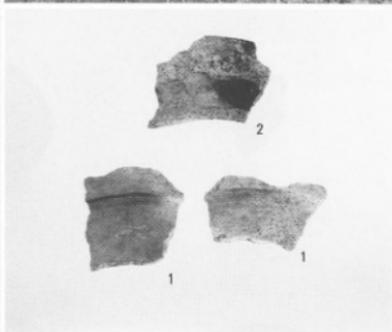
調査概要 調査は、事業予定地内に幅4m・長さ4mのグリッドを2個設定して実施した。調査の結果、第1グリッドでは遺構・遺物とも検出しなかった。第2グリッドでは西側で幅50cm・深さ50cmの南北に延びる溝を検出し、溝の中から弥生土器・土師器・砥石が出土した。このため削平等の工事が第2グリッドに及ぶ場合は、事前の発掘調査が必要である。





上神地区◁第1トレンチ（北東から）△第2トレンチ（北東から）▷第5トレンチ（北東から）
▽出土遺物1：2

図版 2



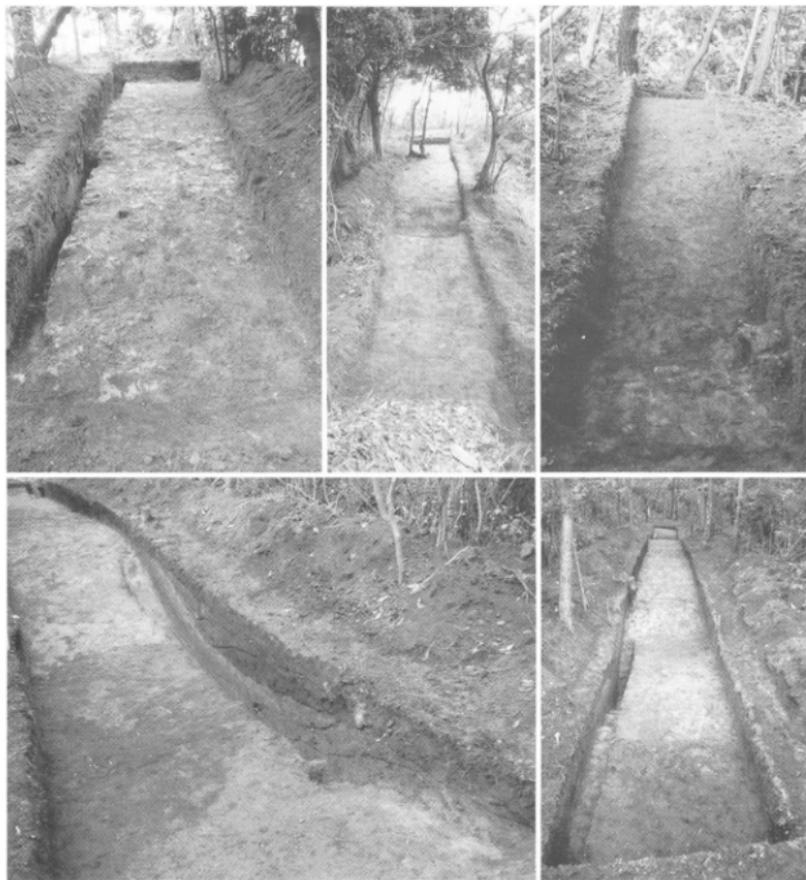
国分寺地区◁第1トレンチ (南西から)

△第2トレンチ (北西から)

尾田地区▽第1トレンチ 箱式石棺墓 (南から)

国分寺地区△第3トレンチ (北西から)

尾田地区▽出土遺物1:3



虹ヶ丘町地区<第1トレンチ (南から) △第2トレンチ (南から)

和田地区▽第10トレンチ 古墳周溝 (南東から)

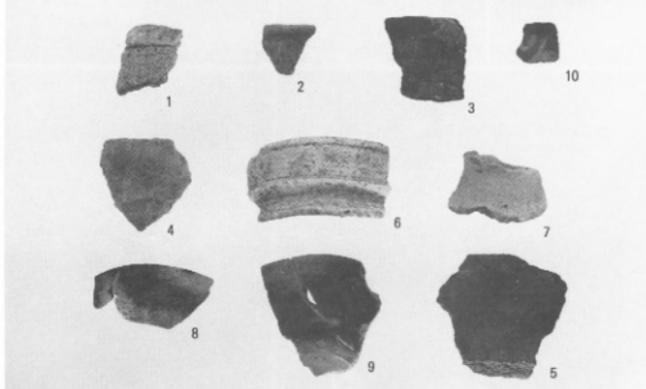
虹ヶ丘町地区△第4トレンチ
(北西から)

和田地区▽第10トレンチ
(西から)

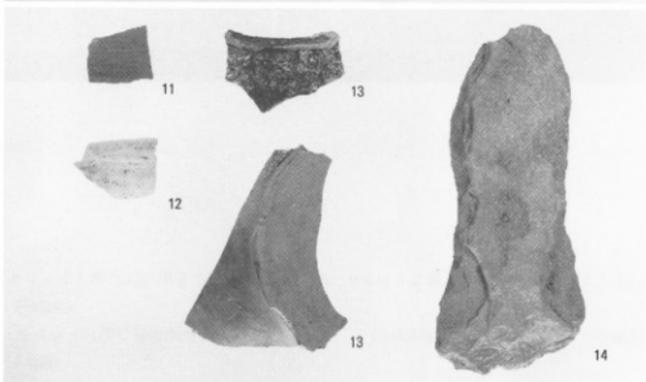
図版 4



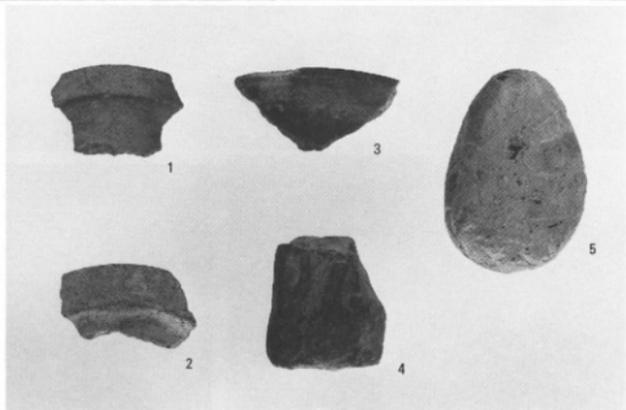
和田地区
第5トレンチ
拡張部
(西から)



出土遺物 1 : 3



出土遺物 1 : 3



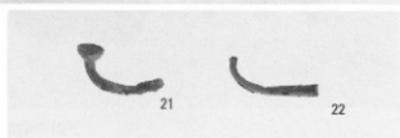
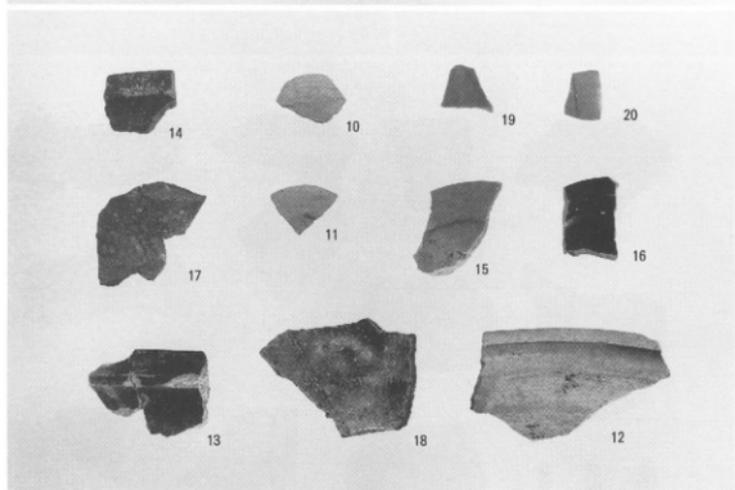
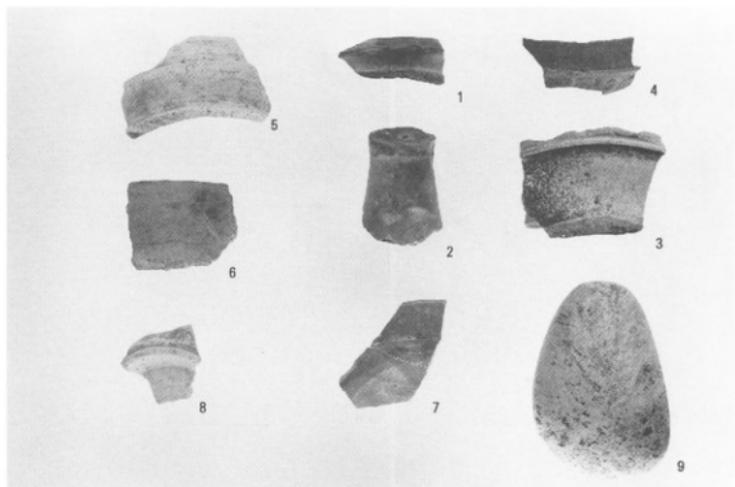
大沢地区<第12トレンチ 柱穴 (南西から) >第17トレンチ 落し穴 (西から)
▽出土遺物 1 : 3



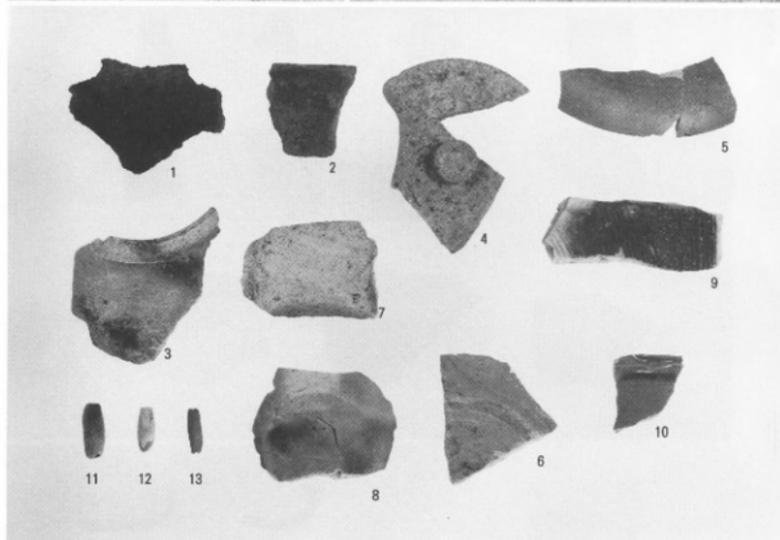
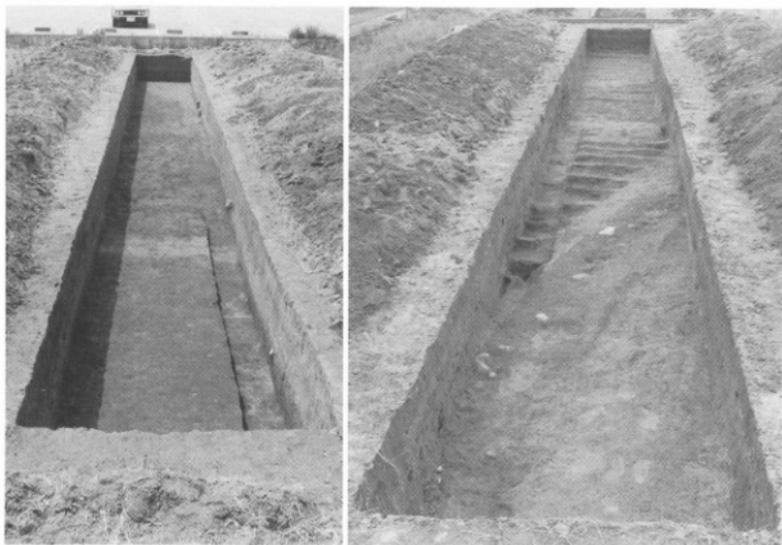
井手畑地区△第1トレンチ (西から)

井手畑地区◁第1トレンチ 土塙 (東から)

大河内地区▷トレンチ (東から)



井手知地区出土物 1 : 3

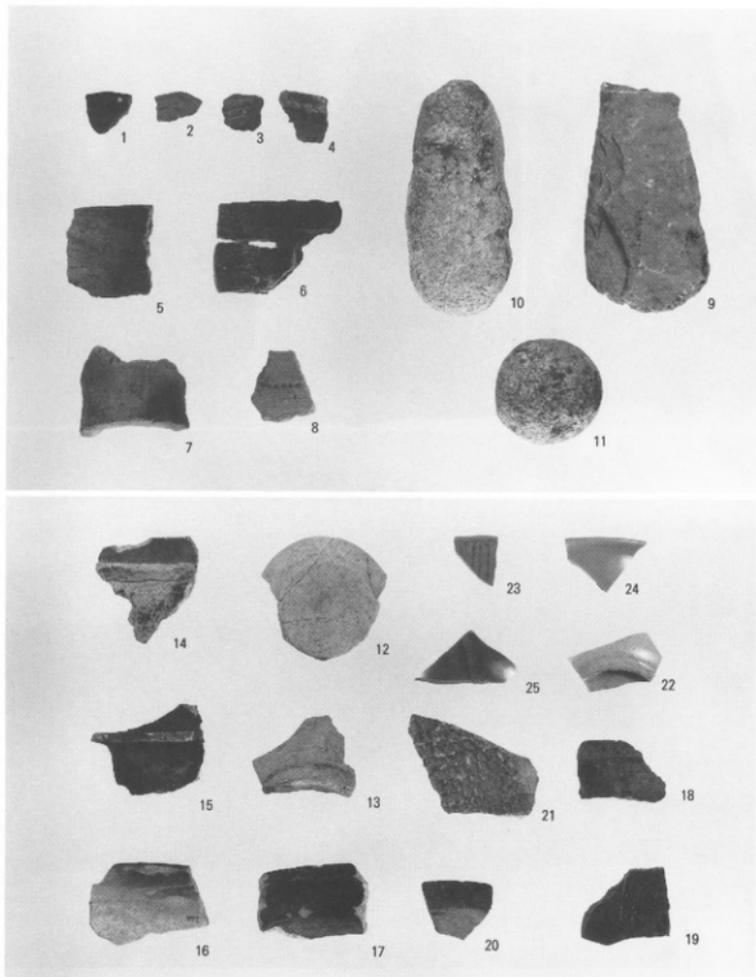


下田中町地区<第1トレンチ(北から)>第2トレンチ(南から)

▽出土遺物 1 : 3



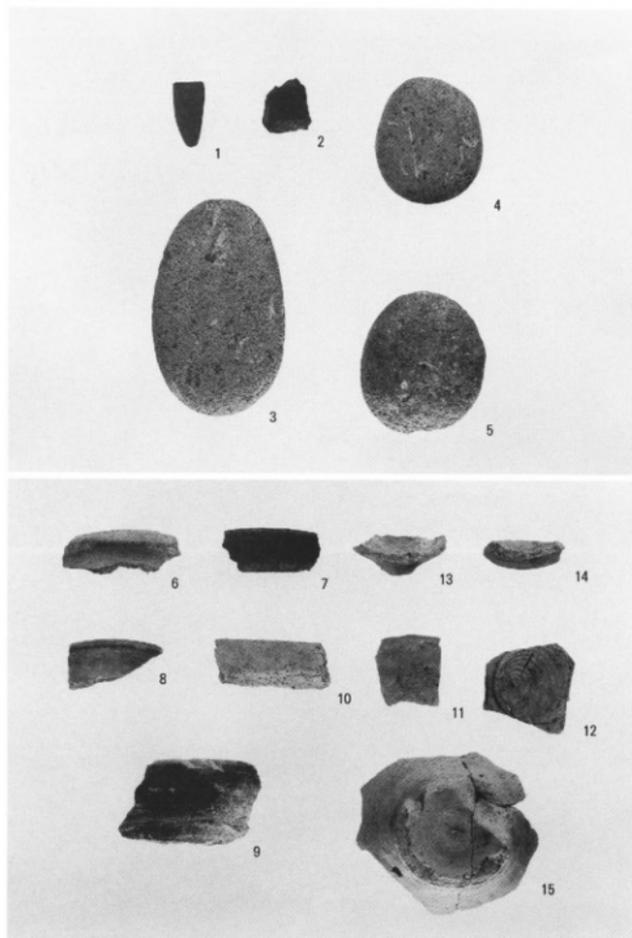
西倉吉町地区◁第1トレンチ (西から) △第2トレンチ (東から) ▷第2トレンチ南側断面 (北西から)
▽第1トレンチ 土壌3 (北から)





不入岡遺跡△第6トレンチ (東から)

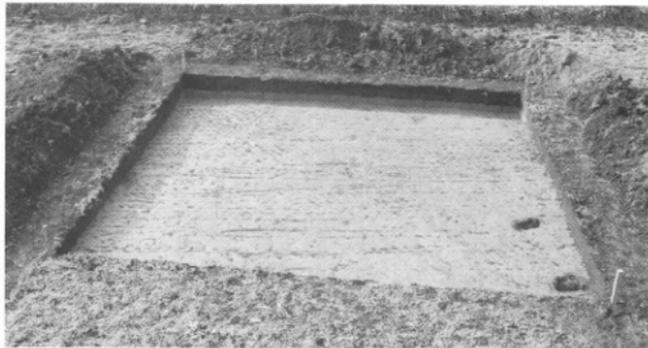
▽第6トレンチ SD45 (北から)



不入岡遺跡出土遺物 1 : 3



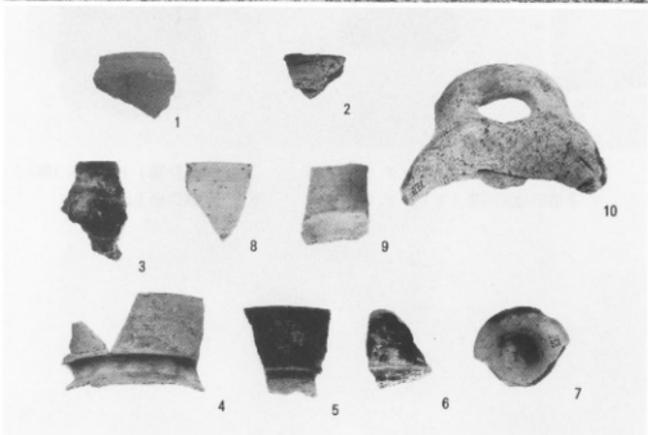
鋤地区◁第2トレンチ (北東から) 国府地区▷第1トレンチ (南から)
 下福田地区◁第2トレンチ (南東から) 下福田地区▷出土遺物1 : 3



北野地区
第1グリッド
(北東から)



第2グリッド
(北東から)



出土遺物1:3

平成9年度調査

地区名	図版No	遺物名	出土位置	地区名	図版No	遺物名	出土位置
上 神	1-1	手捏土器 壺	T1南側	和 出	4-4	弥生土器 高坏	T10東側
	2	手捏土器 壺	T1		5	土師器 大型傘	T10西側
	3	手捏土器	T4		6	土師器 壺	T21
	4	手捏土器	表探		7	土師器 台付高	T26
	5	土製動物形(馬形)	T1南側		8	土師質土器 壺	T6
尾 田	2-1	弥生土器 壺	T2		9	土師質土器 壺	T6南側
	2	弥生土器 壺	T1箱式石棺墓		10	手捏土器 壺	T21
和 田	4-1	縄文土器 深鉢	T6北側		11	須恵器 坏蓋	T21
	2	縄文土器 深鉢	T6北側		12	須恵器 坏身	T21
	3	縄文土器 深鉢	T22		13	須恵器 樽形埴	T10東側
					14	石斧	T6北側

平成10年度調査

地区名	図版No	遺物名	出土位置	地区名	図版No	遺物名	出土位置
大 沢	5-1	弥生土器 壺	T11	井 手 畑	7-10	土師質土器 皿	T3
	2	弥生土器 壺	T8		11	土師質土器 皿	T3
	3	土師質土器 壺	T11		12	土師質土器 鍋	T1東端土境
	4	灰石	T12		13	瓦質土器 羽釜	T3
	5	磨石	T12		14	陶器 壺	T1
井 手 畑	7-1	弥生土器 壺	T2		15	陶器 皿	T1
	2	土師器 高坏	T1東側土境		16	陶器 皿	T1
	3	須恵器 壺	T1		17	須恵質陶器 壺	T2
	4	須恵器 坏身	T2		18	磨前焼 漆鉢	T3
	5	土師器 壺	T2		19	青磁 碗	T2
	6	土師質土器 壺	T1		20	青磁 碗	T1
	7	土師質土器 坏	T1		21	キセル	T1
	8	土師質土器 高台付坏	T1		22	キセル	T1
	9	磨石	T1拂土中				

地区名	図版No	遺物名	出土位置	地区名	図版No	遺物名	出土位置
下田中町	8-1	縄文土器 浅鉢	T1サブトレンチ	西倉吉町	10-22	陶器	T1土壌1
	2	弥生土器 壺	T1サブトレンチ		23	青磁 碗	T1
	3	土師器 壺	T1		24	青磁 碗	T2西側
	4	須恵器 环蓋	G12	25	青磁 碗	T2	
	5	須恵器 环蓋	G13	不入岡遺跡	12-1	碧玉製形剣未製品	T3東側
	6	須恵器 高台付環(転用礎)	G1		2	碧玉製形剣未製品	T6東側
	7	土師質土器 壺	T1サブトレンチ		3	磨石	T3P2
	8	土師質土器 環	T2		4	磨石	T3東側
	9	瓦質土器 福鉢	T1		5	敲石	T6溝(SD45)
	10	陶器	T3		6	弥生土器 壺	T6溝(SD45)
	11	土鍬	G4		7	弥生土器 壺	T6東側
	12	土鍬	T1		8	弥生土器 壺	T6溝(SD45)
	13	土鍬	G4		9	土師器 壺	T3P1
西倉吉町	10-1	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ		10	土師質土器 壺	T5
	2	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ		11	土師質土器 環	T6溝(SD45)
	3	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ		12	土師質土器 環	T6東側
	4	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ	13	土師質土器 高台付環	T6溝(SD45)	
	5	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ	14	土師質土器 高台付環	T6溝(SD45)	
	6	縄文土器 深鉢	T2サブトレンチ	15	土師質土器 高台付環	T6東側	
	7	弥生土器 壺	T2サブトレンチ	下 堀 田	13-1	縄文土器 深鉢	T10
	8	弥生土器 壺	T2		2	弥生土器 壺	T9
	9	石斧	T2		3	石斧	T9
	10	敲石	T2		4	磨石	T9
	11	校弾	T2サブトレンチ	北 野	14-1	弥生土器 鼓形器台	G2
	12	土師質土器 皿	T1		2	弥生土器 鼓形器台	G2
	13	土師質土器 高台付環	T2		3	土師器 壺	G2
	14	瓦質土器 釜	T2		4	土師器 壺	G2
	15	瓦質土器 釜	T2		5	土師器 壺	G2
	16	瓦質土器 鍋	T2		6	土師器 壺	G2
	17	瓦質土器 鍋	T2		7	土師器 低脚環	G2
	18	備前焼 福鉢	T1		8	土師器 鼓形器台	G2
	19	備前焼 福鉢	T1土壌3		9	土師器 鼓形器台	G2
	20	須恵質陶器 壺	T2		10	土師器 把手	G2
	21	須恵質陶器 壺	T2				

報告書抄録

書名	倉吉市内道路分布調査報告書							
副書名	—————							
巻次	X							
シリーズ名	倉吉市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第97集							
編著者名	森下百哉・根鈴智津子・加藤誠司・岡本哲則・岡平拓也							
編集機関	倉吉市教育委員会							
所在地	〒682-8611 鳥取県倉吉市栗町722番地 TEL0858-22-4419							
発行年月日	西暦1999年3月19日							
所収道路名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査 原因
		市町村：道路記号						
上野宮ノ前遺跡	倉吉市上野宮ノ前	31203	4 Y KM	35° 27' 31"	133° 47' 28"	19970416～19970906	384	倉吉市における各種開発事業に伴う事前の分布調査
河原毛田遺跡	倉吉市園分寺字河原毛田	31203	6 W KK	35° 25' 37"	133° 47' 56"	19970507～19970623	324.5	
庵田中峰遺跡	倉吉市庵田字中峰	31203	4 E ON	35° 23' 37"	133° 46' 7"	19970626～19970605	64	
眞小山8号墳	倉吉市虹ヶ丘町・上余戸字眞小山、天原字眞山	31203	4 AK O	35° 26' 42"	133° 51' 7"	19970705～19970718	45	
天平う遺跡	倉吉市和山字天平う	31203		35° 26' 57"	133° 48' 48"	19971107～19980109	510	
八幡山遺跡	倉吉市等谷字八幡山	31203		35° 27' 29"	133° 48' 43"			
若林遺跡	倉吉市等谷字若林、北石坂早	31203		35° 27' 10"	133° 48' 47"			
長谷遺跡	倉吉市等谷字長谷	31203		35° 27' 3"	133° 48' 48"	19980417～19980427 19981211～19981222	613	
高峰遺跡	倉吉市園府字高峰、高峯	31203		35° 26' 14"	133° 45' 55"			
矢内谷峰遺跡	倉吉市庵田字矢内谷峰	31203		35° 26' 27"	133° 45' 56"	19980420～19980430	68	
上道遺跡	倉吉市井手郷字上道	31203		35° 27' 55"	133° 50' 9"			
畑ノ由遺跡	倉吉市下田中町字栗塚・西上手・中上手・畑ノ由、米田町字八ヶ塚・土亀田・新田手	31203		35° 25' 34"	133° 50' 48"	19980611～19980618	240	
空閑田遺跡	倉吉市西倉吉町字原敷添、空閑田	31203		35° 25' 21"	133° 48' 24"	19980701～19980717	54	
木入間遺跡	倉吉市木入間字間、荒神原、奥屋敷	31203	6 W F F	35° 26' 12"	133° 48' 26"	19980706～19980827	87	
八幡早う遺跡	倉吉市北野字八幡早う	31203		35° 25' 16"	133° 48' 11"	19981216～19981218	32	

所収遺跡名	種類	主な時代:主な遺構	主な遺物	特記事項
上神宮ノ前遺跡	祭祀・集落	弥生 : 貯蔵穴 1基 古墳 : 祭祀遺構	弥生土器・土師器・手捏土器 土製動物形・甕	古墳時代の祭祀遺跡。
河原毛田遺跡	官衙関連	奈良～平安:溝 8条	土師器・須恵器・瓦	平行する2条の溝。
尾田中峰遺跡	墳墓	弥生 : 箱式石棺墓 1基	弥生土器	
奥小山8号墳	古墳	古墳 : 古墳 1基	土師器	昭和55年度調査の奥小山古墳群に連なる古墳。
大平9遺跡	古墳	古墳 : 古墳 1基	弥生土器・土師器・須恵器・土師 質土器・瓦質土器・陶器・敷石	墳丘の削平された古墳。
八幡山遺跡	墳墓	弥生 : 平地	弥生土器	弥生時代後期の墳墓の可能性。
若林遺跡	古墳	古墳 : 石列	縄文土器・土師器・須恵器	横穴式石室を主体とする古墳群。
長谷遺跡	古墳	古墳		古墳群内に位置する。
高崎遺跡	集落	弥生～古墳:ピット 5基	弥生土器・土師器・敷石	弥生時代後期から古墳時代に至る集落。
矢内谷峰遺跡	生活址	縄文 : 高し穴 1基		縄文時代の生活址。
上通遺跡		中世 : 土壇 1基 溝 1条 近現代 : 水碓 1基 石敷き 1基	弥生土器・土師器・須恵器・土師 質土器・甕・瓦質土器・陶器・磁 器・瓦・鉄製品・玉髄・銅片・炭 化物・木片	水田に関連する遺跡。
畑ヶ田遺跡	畑・水田跡	奈良 : 溝 中世～近世:畑 水田	弥生土器・土師器・須恵器・瓦質 土器・陶器・寛永通宝	中世～近世の畑・水田跡。
空岡田遺跡	集落・水田跡	中世～近世:土壇 水田	縄文土器・土師質土器・須恵質土 器・青磁・陶器・磁器・石器	丘陵縁辺部が中近世に造成される。城館関連 遺跡か?
不入岡遺跡	官衙	奈良～平安:溝	弥生土器・土師器・丹塗り土師器 須恵器・碧玉未製品	東を画する溝を検出。
八幡平ラ遺跡	集落関連	古墳 : 溝 1条	土師器	直線的な溝。

倉吉市内遺跡分布調査報告書Ⅹ

平成11年3月19日 印刷

平成11年3月19日 発行

編集
発行
印刷
製本

倉吉市教育委員会

優成印刷(株)
